磐城日日
発行所 磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

印刷
事務用印刷物
チラシ・機関紙
長瀬印刷株式會社
TEL219・387

盛況町政を聴くの會
合併問題など質問續出
小名浜社民クの試み成功

小名浜社民クラブ主催の「町政を聴く会」は二十七日午後七時半から全町公民館日本間に長瀬町議会議長ほか各議員及び役場（町長病欠）遠藤庶務課長ら各課長多数出席して開かれた

会はまず会長会田亮氏から開会主旨の挨拶 長瀬議長から

町政、政治は全てガラス張りでなければならぬので、今回のこの催しは町今後の發展のために喜ばしい

と挨拶、クラブ小野幸次郎氏の質問をトップに一齊に質問の矢が町議、役場課長に向けられ、クラブ員の鋭い鋒先に議員諸公も額から油汗を流すと思えば逆に反問するなど活発な反撃、攻防戦が繰り擴げられた、特に市政施行の自透問題とからむ鹿島合併は漸次小名浜に傾いている、と西丸氏が重大な發言したほか、製鹽工場の「ニガリ」に關する工場誘致について相當突込んだ質問があつたが、議員らは一樣に口をつぐんで語らなかつた、巷間に流布されていることなどから火藥工場の誘致以外にニガリに關する工場は無いとするところから注目を惹いた

質問戦の大要は次の通りである（紙面の都合で特に関心を持たれるもの丶み掲載した）

市制は何時か
質問の第一聲飛ぶ

▼市政施行の見透しについて

西丸町議…現在の姿では將來の發展は期すべくもない、市政をしくことによつて發展も伸張もなされる、合併の問題も漸次鹿島が小名浜に傾いている

新田元治氏…一億五千萬と云うボウ大な予算に尻込みはしないのか

長瀬議長…財政的に惠まれていないと云う說も前にはあつたが再三の折衝で現在は納得して來た

西丸町議…町と市の肩書きでは起債から平交衛附金、港灣の補助などからして差がある

長瀬議長…二級國道も結論から云えば市でないために平市で切られた

鈴木五郎…町の道路の負擔金はいくらか

馬上土木課長…普通町村で二分の一、都市で三分の一が地元負担となつている

小野（幸）…なぜ鹿島のみを先に擧げたか

西丸町議…泉は地形的に必要だ、また江名も然りだが両者とも機が熟していないとはね返された、このような問題は相手のある話で愼重を期している

菅原（水素）…鹿島は生活に困つている、合併したら税金が高くならないか

小野（務）町議…町では起債を余計とれぬので反つて困つている、財政的に市政施行は救われる

佐藤税務課長…税には標準税率があつて課税するからその心配はない

▼工場誘致問題

小野（務）町議…工場誘致は港灣と通なるもので發展のシンボルだ

日本製鹽工場のニガリをどう處分するかでこれに關する工場計画がある

菅原（水素）…それはどんな工場か

小野（務）町議…それは云われない

出席町議＝長瀬議長、馬上副議長、西丸猛、小野務平、木村祐、菅原勤、金澤勉、飯塚新四郎、木田谷平、野崎貞行、小林仁一郎、飯田宗秋、石井幸平

今年中に認可か
小名濱商工會議所設立

小名浜商工会（会長草野庄平氏）は先きから商工會議所昇格躍進を目指して運動して來たが、最後の難関となつていた地域分割問題が二十七日午後一時から開かれた平商工会議所議員總会に於て附議され、小名濱商工会の申請した小名浜、泉、江名、豊間、鹿島の四町一カ村地域に対して江名、豊間二町を除いて小名浜地域の分割を承認した

小名浜商工会ではこの地域分割承認に基き商工会議所設立を縣商工課を通じて通産省に申請する事になつた、市政施行に先行して商工業者の發展的懸案となつていた会議所の設立はこれで一切の所要手續きを済まして残こされた最後の問題は通産大臣の許可となり政治的な解決となつたので地元議員の協力を得て中央に向つて運動を展開する事になつた

全國的に會議所が濫立している現況から許可を困難ではないかとする向きもあるが、大体今年中に許可設立されるのではないかと商工業者は勿論町發展の爲にも非常に明るい希望となつている

☆☆解説☆☆ 商工會議所の地域分割問題

商工会議所の地域分割と云う事が小名浜商工会議所設立に關して重要なる問題となつて來たが、この商工会議所の地域割は本縣獨得の悪法（？）とも云われ、當初商工會議所法施行に伴い縣條例をもつて浜通り、縣南、縣北、会津と四地区に指定、平、福島、郡山、若松に夫々の商工会議所を設けたものであるが、戰後各地区に設立運動が起り浜通りでは平から原ノ町が、原ノ町から中村が獨立し、縣南では白河、須賀川が、若松からは喜多方がと云うように夫々獨立して來たもので地域指定と云うことが実際上は無用の長物として会議所の活動はその都市にのみ限られており、逆に分立する場合になると足がらみになつて逆作用を及ぼしているものである

今回の小名浜商工会議所設立は平にとつて大きな脅威ともなり、この地域分割承認權は大きな威力をもつて小名浜にのしかかつて來たものと考えられる

當初小名浜が申請した將來の市政計畫を含んでの地區警管下四町一カ村に對し、江名豊間の一部業者に小名浜地区となることに反対する意向があつたとは云え、これを除いて承認したと云う事は大きな含みをもつて將來に尾を引くものと觀測される

ともあれ小名浜は江名、豊間の問題は將來に残こして設立の申請をすることになるようであるが、地域狭少の理由で不許可となる可能性もある

市政施行と同一ぐらいに重要性のある問題だけにその設立に當つては当事者の愼重迅速な政治力が切望される（喜久）

石城公民館運営協議会

平、石城公民館運営協議会理事幹事合同会議は二日午后二時から平市公民館に開催する

民生委員協議会

小名濱町民生委員協議會は二十九日午前九時から公民館階上で開かれ、先般開設された農繁期託兒所の報告、その他を協議小名浜地區署防犯係菅野部長の臨席を請い、「最近の少年犯罪の動向」などについて聽取した

苗代一等は佐川さん
泉の品評会

既報＝泉町役場主催による苗代、菜種、小麥立毛作などの審査品評会について植田農改指導所より次の入賞者が發表された

普通苗代＝一等佐川順吉（黒須野）二等阿部又十（本谷）三等下遠野定男（黒須野）

保温折衷苗代＝一等松崎大二（瀧尻）二等吉田定信（仝）三等吉田民雄（仝）

菜種立毛＝二等吉田正（玉露）二等上遠野正則（瀧尻）三等志賀一（玉露）

大麥立毛＝二等志賀漣（玉露）二等草野利男（本谷）三等山口倉次郎 泉町）

小麥立毛＝二等佐藤德次（泉町）二等山崎正夫（瀧尻）

裸麥立毛＝一等大平辰夫

洋傘専門 高野昌平商店 小名濱町中島

郡下のトップ
泉、下遠野さん麥供出

郡下のトップを切つて二十七日泉町黒須野、下遠野武さんは大麥四俵を泉農協に出荷した

直ちに縣食糧事務石城支所齋藤茂氏ほか松本喜一係長、植田出張所長村田吉三郎氏、平出張所長平政直氏、その他小名浜食糧支所員ら立會いのもとに検査の結果、何づれも三等に合格した

出荷された新麥は銘柄第一類二俵、長粒種二俵の計小粒大麥四俵で予想より乾燥ともに良好で三等の上位の格付けが附された

上遠野さんは昨年俵米品評会で知事賞を獲得、部落の模範指導者として精農している

品質本位 新柄の店 樋口呉服店 小名濱町 電二〇四

査算の検定試験

小名浜郵便局（局長佐藤幸助氏）では七月一日午前九時から会議室に於て現金査算檢定試験を行う

試験方法は、たてよみ法よこよみ法（扇型又は横型）で現金紙幣代用紙を用い、現金取扱の局員が資格を取得するもの

しゞみ四斗を教材費に
泉小学校生徒

毎年秋にはイナゴを獲つて学校教材を求め感心な兒童たちとして評判になつている泉小學校では全校生徒一丸となつて廿七日（土曜）午前中（所要二時間）全町下川地先の淺瀬でヤンヤ〱とはしやぎ切つて「しじみ」の採取を行つた結果、何んと四斗三升カ合を獲てみんな大喜び、早速一升六〇円で賣上げ希望者の約半數に供給、この「しじみ」總益金二千六百十四円をして学校教材教具を購入することになり、一般より「よい子たち」と感謝されている

大日本炭礦に凱歌
植田の劍道会

植田地區警察署対大日本勿來礦業所の親善劍道大会は二十七日午後二時より勿來町公民館に於いて開会、大日本炭礦が優勝した

指導主事の小名校訪問

縣教委石城出張所では阿部所長はじめ千葉、高木両指導主事は來る二日午前七時四十五分から午後四時まで、小名第一小学校へ學校訪問をする

急募！
女子事務員 若干名
年令 18才～25才
希望者は履歴書持参
7月1日
午後1時より4時迄
小名濱タクシーへ

内科
小児科
レントゲン
堀越醫院
小名浜町下横町
電話 三七三番

◎日建の月払建築は無籤式の様に抽籤や入札で建築の時期が定められる不確實のものでなく、一定の時期に必ず早く家が建つのであります
土地未定の方は小名浜出張所、小野幸次郎に直接申込
◎申込の方に限り適当な分譲地がありますから御加入になれば家も土地も同時に御加入者のものになります
◎御加入者に良い棟梁さんがあれば弊社の承認を受けて其の棟梁さんに建築を御依頼になれます
◎すでに当出張所に申込みになつて小名浜町江名町、中之作に七棟の家が建てられています、坪当りの建築費は御加入者の希望額で責任を持つて建築致します
直接申込所
小名浜町下町一八
日本建物KK小名浜出張所
小名浜町字古港小名川堤堰
小野幸次郎事務所

パチンコ
◇最新機取付
◎文化人の健全娯楽
◎良く出る良く当る
パチンコホール第二百万ドル
◎大当り＝大好評
小名浜町横町

★カンバンと塗装
技術本位の当店を御利用下さい
各種看板製作
一般塗装工事請負
金星座通り
サイトウ塗装工業所

季節の食物
☆冷むぎ初めました
ざるそば・冷そば・茶そば
もりそば・丼類一式
☆福島屋の味覺を是非〃
出前迅速
福島屋
小名浜町下横町電123

豪華な代表作二百余
東西名畫展覧會を開催
七月三、四の兩日湯本公民館で

本社湯本支局(支局長鈴木武勇)はこのたび支局の人員を整備強化湯本地区一円の取材増強に積極的な活動を始めたが、今般同支局では、東西名畫展覧会を開催すべく準備中であつたが教育委員会公民館湯本町等後援のもとに來る七月三、四日の兩日湯本町公民館ホールで開催決定、ひろく一般繪画ファンに公開するとゝなつた

出品畫は豪華な複製に成るもので、ルナール、セザンヌ、ゴッホからピカソ、マチスに至るまで有名代表作品の大部を蒐め浮世繪では廣重、歌麿、北齋等の異色ある作品が出展され東西古今の代表作出品数實に二百数十点に達する堂々たる繪画展で繪に對する一般常識の涵養のためにも益するところ大として期待されている

△東西名畫複製畫展覧会
一、日時ー七月三、四日
一、場所ー湯本公民館
一、出品点数ー二百四十点
一、主催ー磐城日日湯本支局
一、後援ー湯本町、同教育委員会、同公民館

なお同展覧會には牧島如鳩氏の高弟馬上牧童画伯の洋画二十數点が特別出品される

浜の覆面強盗事件
共犯の魚屋も身柄送検

"既報"三年前の三人組覆面強盗容疑として東京西巣鴨署に逮捕された五十嵐格(二九)、横浜地區市署に逮捕された姪田康夫(小名浜町西町生れ、二六)の両名は二十八日身柄を小名浜地區警察署に移され、取調べを受けたが容疑が確定して二十九日共犯の田中某と共に平地検に身柄を送検された

三名は二十六年四月二十九日午前一時頃小名浜町竹町鮮魚商小林なみ子さん方に覆面して侵入、小林さん同居人の大峰秀太郎(五三)さんに出刃包丁で傷つけたものであるが、當時なみさんは鮮魚のカツギ屋として相當に小金をためたと云う風聞から同業者として事情に明るい三人が犯意を起こしたものと思われる

なお容疑者田中某は町内に店舗を構えて逮捕される前日迄鮮魚商を営んでおり普段のレイ落な人柄から近所の人々を非常に驚かしている

お詫び

本紙二十八日附紙面「三年越しで逮捕」記事中容疑者を「溝井某」と假名使用致しましたところ偶然にも隼人鮮魚商溝井正二氏と一致し溝井氏に非常に御迷惑をおかけ申しましたが、鮮魚商溝井正二氏とは全くの同名異人でありまして、溝井氏にまぎらわしき假名を用いまして御迷惑をお掛けしましたことを、謹しんでお詫び申し上げます

昭和二十八年七月廿九日
磐城日日新聞社

平で福大の公開講座

石城小学並びに中学校長会、平市校長會共催による福島大学公開講座は來る四、五、十一、十二の四日間開設される

本講座は教育原理及び教育心理で、四、十一の土曜日は午後一時から三時半まで、五、十二の日曜日は午前九時から午後三時まで

会場及び人員

教育原理(二百名)平一小で、教育心理(二百名)平三小で

受講者は助教諭のこと

小島の運動靴

ほんまぐろ四千貫

二十九日朝小名浜魚市場にほんマグロ百五十本、四千貫、きはだマグロ一千五百貫が水揚された

これは鹽屋崎沖で四ッ倉觀音丸らの廻船が獲つて來たもので、値段は貫當り四百八十円から六百三十円で東京方面に出荷された

チケットの切り替え
小名専門店会

小名濱専門店會(小名浜町船引場四三)では前年度の舊券(チケット)の二十七年十二月末日まで配載あるものは今月を以て無効とし新券と取換へられた

なお西町大和田ミシン商會がこのほど全専門店会に加盟した

社告

本社は発刊以來茲に三ヶ年を迎え、地方有志四十余名の發起人協力のもとに株式会社に発展的組織變更、いよいよ七月登記完了の手筈となりました。人員の整備強化、新活字の發注も終り、常磐地區の最有力地方紙として輝かしく新發足日頃御愛顧を蒙つている讀者諸賢の御期待に添うことになりました

本社は更に地方民による地方紙としての今次新聞解放の主旨に基ずき廣く一般讀者から「讀者の経営する新聞」として株式を公募することになりましたから奮つて御参加願いたく御知らせ致します

昭和廿八年六月卅日
磐城日日新聞社

地域労働者擁護へ
地區労組で協議會結成

地域労働者の利益よう護を図るために結成される日本水素地區労仂組合協議會は既報の如く、日本水素、丸江第一、第二、門井組の四労組では去る二十七日午後四時から日本水素労組事務所で結成準備会を開き来る七月十日午後四時から全組合事務所で代議員会を開催して役員の選任、規約、行動方針などを決定して発足する

準備会で内定した正副議長及び事務局長の三役は次の通り

議長=橋本平夫(丸江第二労組長)副議長=斎藤博(門井組合長)事務局長=菅原秀夫(日本水素)

植田町で町營住宅完成

昨年十一月より建築中であつた植田町町營住宅十戸はとの程見事に完成、入居者の申込を募集している

完成した町營住宅は植田町金山地内に工費二百六十八万四千六百圓で同町樋田建築工務所、樋田清氏の請負で工事施行したもので建坪十一坪の仲々の文化住宅である

なお入居期日は七月上旬頃の予定である

小名浜一小が入賞
四日縣音樂コンクールへ

石城地區小中学校音樂コンクールは二十八日午前八時半から平第一小學校講堂に開かれ、磐女高若松紀志子、小名浜高増子操、内郷高千葉実三氏の審査で競演されたが小名浜一小が合唱の部で入賞四日の縣コンクールに出場するとともになつた

審査の結果は次の通り

「小学校の部」
▽合唱、一位小名浜一小「うぐいすの歌」指揮飛田ツヤ子、伴奏大高文子 平一小「わかれ」指揮佐藤右京、伴奏吉田昭子
▽獨唱、なし
▽合奏なし
▽ピアノ、一位、平第三小、野崎進

「中学校の部」
▽合唱、一位、内郷一中 平一中

印刷 御用命ハ 電219

天氣豫報 30

「本日」北の風で朝晩は曇り、日中は晴れて來きしよう
「海上」風波があります

魚菜市況 29

「小名浜中央青果市場」トマト初登場で貫當五百円、卵一一〜一二、五大根七〇〜一〇〇玉葱三〇〜六五玉ねぎ三〇〜六五馬鈴薯二〇〜四九むき豆四〇〜一〇〇胡瓜四五〜一一〇〇牛蒡二五〇〜二六五甘藷五〇〜五六なた豆一八〇〜二五〇茄子一八〇二三〇人参一三〇〜一五〇

「魚市場」すゞき八〇〇〜四〇〇小赤八〇大黒子五二小黒子三五黒子二〇中黒六七〜一〇〇いなだ四四〇あじ一二〇中鯛七〇〇唐八一六ぎす二七〇たこ一七〇なめた三一〇えび一八〇〇さめさ一三〇

◎募集◎
新聞配達員
若干名
磐城日日新聞社

耿介旅日記③
緋谷耿介

六月十六日(火)快晴からりと晴れ上つた空にはまぶしい迄に六月の陽光が照りつける。全員元氣一ぱい山梨交通の磨き澄まされた貸切バスが横ずけになる。愈々待望の精進口登山路富士五湖めぐり、番頭の見送りに別れをつげる、「發車オーライ」かつきり午前八時バスガールの聲もさわやかだ。果てしない甲府盆地を突走る。甲府小唄、方言の紹介など、笑いさざめく中に、バスは富士川に添つて下る。日本三急流の一、二千有余年洗いつくされた岩壁は價角にそゝり立ち、あたつてはくだけしぶきとなる。

名残りおしい富士川を横断古關村に着く。

昔、關所のあつた所とかこの邊より路はすごい急勾配となり、はらはらさせる。二十幾曲りの心労も持前の美聲に我を忘れる。

「間もなくトンネルでございます。トンネルを抜けますと眼の前に本栖湖が開けて居ります」

「皆様ごらん下さいませ本栖より眺める富士の雄姿、河口湖からの富士を女性的と申しますなら、ここからの富士は誠に男性的であります。」

一同總立ち。あゝ本栖湖!! おゝ富士!! 滿々たる湖水。波一つない水面透き通る迄に澄んだ水色なんときれいな色だろう見たことがない神秘的だ。周圍十二粁、水深百米に影を映す堂々たる男富士の偉容。噴火の物凄さを思わせる眞黒な溶岩凸凹の激しいえくぼ道路人これを呼んで愛嬌道路をバスはゆつくりと走るやがて道路は富士大宮からの道路に合し、壮大な裾野が樹木海の中をバスはひた走りに走る。幾多のロマンスを秘めたこの大樹海は想像以上廣大なものである。快調なエンジンの音とバスガールの名調子をききながら暫らくゆくと左手に精進湖、干し上つて水少なく黒々とした溶岩だけが露出する。

この附近一帯は大小様々の溶岩で埋めつくされている。その中に緑木が初夏の微風に葉裏をのぞかせる。人影もなく静まりかえる。およそ人間社会とはかけ離れた別天地である。西湖が見え初める富士の姿は色々に変つていく。或いは強く、或いは弱く、或いは近く、或いは遠く、その度に白雪の光がまぼゆい。ゆかりなく感激の炎は胸中に燃えさかる。やがて河口湖畔。

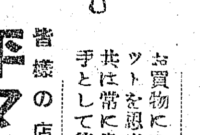
常磐名産 みりん干

=1日マデ=
赤穂浪士
夫婦
上映中
金美館

外科・整形外科・性病科
内科・胃腸科・小兒科
婦人科・歯科・レントゲン科
平市南町二十三(電一〇七)
醫療法人 松村病院
院長 松村亨
高野節哉
河島清作
岸本隆夫
松村政次
新妻春治
放射線科 菊池政次
藥劑師
見習看護婦募集

"開店お知らせ"
此の度皆様の御支援御要望に依り氣輕なサービス本位の店として開店致しました
割烹喫茶 とき松
店主 熱田ひて
皆様の御來店をお待ち致して居ります
小名浜町後宿三五
電話四九二番

外科 放射線科
結核予防法指定病院
労災保険指定病院
船員保険医
健康保険医
松田病院
小名濱駅前通り


經費をかけずに良い品安く
ゆかたとかやの季節
かや、太絹、片麻、本麻
東京本染ゆかた各銘柄品
パラソルと洋傘学童用傘
レインコート絹ビニール
男女雨靴運動靴サンダル
丸首メリヤス女性着各種
婦人帽パナマ帽ミルキー
開衿シャツ替ズボン特價
化粧品柳屋メヌマ ジユジユパピリオ 80円
野球卓球庭球用品各種
海水着海水パンツ海水帽
菓子切手葉書印紙たばこ
お買物には先づ平マーケットを想出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
皆様の店
平マーケット
チケット歡迎
小名浜第二小学校前 電二九七